

『葉が白い？コブノメイガ大発生！』

今年は例年より早くコブノメイガが発生しております。イネの葉が縦に白く見えたならコブノメイガによる食害の可能性がります。

1. 被害について

コブノメイガは幼虫が1枚の葉を縦に巻き、内側から食害するので葉が縦に白く(図1、2)見えます。巻いている葉(図3)を開いてみると中に幼虫(図4)を見ることができますが、移動し食害する葉を変えるので見つからないこともあります。

トビイロウンカと同じように日本では越冬はしませんが、中国大陸からジェット気流に乗り飛来した成虫(図5)が卵を産み第1世代幼虫の発生になります。発生が多い年は第4世代まで発生し、第3・4世代が止め葉を含む上位葉を食害すると光合成が出来ず、登熟に影響がでて収量が減少してしまいます。



図1 幼虫による食害



図2 食害が多発している水田



図3 巻いている葉

2. 防除について

食害する幼虫を効果的に防除しなければなりません。コブノメイガは産卵後3~5日で孵化し、20日間幼虫が食害を行い、その後蛹で10日くらい過ごし成虫になるサイクルです。そのため、水田の中を成虫が飛び回りだしてから約10日後が防除適期です。出穂前後の防除が基本ですが、必要に応じて適宜防除を行きましょう。



図4 コブノメイガの幼虫



図5 コブノメイガの成虫

コブノメイガに登録のある農薬(一例)

(2.8.5現在)

商品名	規格	散布量/10a	使用時期	使用回数
イッカツエース粉剤DL	3kg	3~4kg	穂揃期まで	2回以内
ハスラーRX粉剤DL	3kg	3~4kg	収穫14日前まで	2回以内
ブラシンジョーカー粉剤DL	3kg	3~4kg	収穫7日前まで	2回以内
ブラシンジョーカーフロアブル	500ml	1000倍 水60~150%	収穫14日前まで	2回以内
トレボン粉剤DL	3kg	3~4kg	収穫7日前まで	3回以内
トレボン乳剤	500ml	1000倍 水60~150%	収穫14日前まで	3回以内
パダンSG水溶剤	500g	1500倍 水60~150%	収穫21日前まで	6回以内
ロムダン粉剤DL	3kg	3~4kg	収穫14日前まで	2回以内
ロムダンゾル	500ml	1000倍 水100~150%	収穫21日前まで	2回以内

※殺虫成分ロムダンは脱皮阻害剤です。食害した幼虫を成虫にさせない効果ですので、成虫には効果がなく、散布した後も成虫は水田を飛びます。